

(2)活動室の使用状況

①ボランティア・市民活動センター

場所	回数	(前年)	人数	(前年)
会議室1	289	275	2,648	3,352
会議室2・3	200	263	1,400	1,985
合計	489	538	4,048	5,337

②コミュニティプラザ201室

	2年度	元年度
使用団体	6	9
使用のべ回数	67	179
使用のべ人数	281	1,016

窓口来所	2年度	元年度
総来館者	2,445	3,268
	6,493	8,605

(3)ボランティア保険の取扱い (件)

種別	2年度	元年度
①ボランティア保険(基本)	858	1,355
②ボランティア保険(天災)	142	163
③行事保険(一般)	83	145
④行事保険(当日参加型)	88	84

(4)相談支援の動向

種別	件数	前年	内訳						
			高齢	障害	疾病	児童	住民全般	他	
(1) ボランティア依頼	33	106	4	9	1	10	3	6	
(2) コーディネート	322	291	活動希望 61	活動紹介 94	受入打診 31	フォロー 44	保険 1	寄付 67	他 24
(3) 団体活動への支援	377	291	活動支援 207	打診・協働 19	助成金 69	広報 18	フォロー 32	保険 12	他 20
(4) センター事業	53	28							
(5) その他	111	107							
合計	896	823							

ボランティア・市民活動ネットワーク**(1)ボランティア・市民活動登録団体連絡会(コロナ禍におけるボランティア・市民活動実情調査)**

登録団体とセンターが共に活動を推進していくにあたり、取り組みや課題の共有を行うとともにセンター事業実施のニーズ把握を行っていたが、コロナ禍により中止。コロナ禍におけるボランティア・市民活動実情調査を代替的に行う。

《実施状況》6月19日～7月6日 75団体に協力依頼 回答:44団体

《実施内容》①困っていること ②工夫 ③望む支援 ④やってみいたいこと ⑤今後の懸念他

(2)特定非営利活動法人連絡交流会

各法人間の現状を共有し連携を図るとともに、法人に必要な考え方を学びあう場として参加を呼びかけたが、参加団体がなく中止。

(3) ボランティアコーディネーター連絡会(コロナ禍におけるボランティア活動アンケート調査)

福祉施設のボランティア担当者が参加し、取り組みの現状や課題を共有し、福祉施設間の連携とボランティアコーディネートに活かすことを目的に実施予定だったが、コロナ禍により中止。コロナ禍におけるボランティア活動アンケートを代替的に行う。

《実施状況》 7月25日～8月20日 11施設12名参加

《実施内容》①受け入れの現状 ②工夫 ③創出できそうな活動 他

ボランティア・市民活動の広報・啓発

(1) きよせぼらかつニュースの発行

ボランティア・市民活動に関する情報を定期的に発信し、広く関心を高めるとともに活動に役立つ情報と活動団体の取り組み周知を図る。

号	内容
4月号	ガイドブックの発行 団体紹介「おひさまネットワーク」他
5月号	あったかマスクプロジェクトへのご協力を Zoomお試し・利用相談会 他
6月号	活動再開のためのポイント フードバンク 他
7月号	ボランティア・市民活動団体実情調査から 団体紹介「子ども食堂ひかり」他
8月号	新型コロナの中での活動「川づくり・清瀬の会」「紙芝居サークルひだまり」他
9月号	新型コロナの中での活動「ウィズアイ」「清瀬国際交流会」 団体紹介「きよせ100歳時代」他
10月号	新型コロナの中での活動「明治大学校友会」 団体紹介「紙ひこーき運営委員会」他
11月号	はじめてのLINE講座 新型コロナの中での活動「チーム・スマイル」「清瀬点訳の会」他
12月号	新型コロナの中での活動「清瀬の自然を守る会」「清瀬国際交流会と声のボランティア」他
1月号	フードバンクきよせの取り組み 特技ボランティアさんの動画撮影 他
2月号	ボランティアに役立つ傾聴講座 新型コロナの中での活動紹介「竹丘子ども食堂」他

※ 令和3年度から発行日は毎月1日に変更。3月25日号は4月1日号に振り替えて発行。

(2) ボランティア・市民活動一覧の発行

市民の活動参加へのきっかけづくりや団体同士の情報共有を目的に「清瀬市ボランティア・市民活動ガイドブック2021」を発行。

《内容》 86団体の情報掲載 300部発行

※コロナ禍による中止事業

①ボランティア・市民活動見本市

地域連携

(1) 動物問題を考える会

入所・入院時のペットの取り扱い、多頭飼育など動物と人に関わる問題に焦点をあて、事例共有や必要な取り組みの検討を通じ、検討を図っていく。コロナ禍により回数減。

《実施状況》 10月29日

《内容》情報交換:協力し合えたらよいことをテーマに実施

※コロナ禍による中止事業

動物おしゃべり会

(1) 音訳者養成基礎講座

視覚障害を持つ方の情報保障支援活動に関わることができるボランティアを養成。

《実施状況》 11月18日～12月23日の全6回 8名修了

(2) 手話奉仕員養成講座（入門編）

聴覚障害者等に対して、手話を用いたコミュニケーション支援に関わる市民を増やすために実施。全30回のうち前期分を実施する。

《実施状況》10月23日～3月26日の全11回(4回延期) 14名受講

(3) オンライン上におけるファシリテーション講座

オンライン会議特有の進め方のポイントを伝え、コロナ禍にでの話し合いの進め方について理解を図る。

《実施状況》 10月31日 参加者:12名

(4) みんなのファシリテーション講座

グループでの取り組みが円滑に行われるよう、合意形成や問題解決につながる話し合いの進め方を身に着けることを目指し実施。

《実施状況》 2月13日 2月20日 参加者:12名

(5) 初めてのLINE講座

コロナ禍によりつながりが薄れている高齢者などが、新しいコミュニケーションツールを身につけ、交流のきっかけづくりの場とする。

《実施状況》 12月14日 参加者:12名

(6) ボランティアに役立つ傾聴講座

多くのボランティア場面で求められる、寄り添うコミュニケーションの取り方などを学び、活動の中で活かされることを目指し実施。

《実施状況》 3月25日 参加者:33名 会場(7名) オンライン(26名)

(7) フードバンクボランティア説明・登録受付会

フードバンク事業の開始にあたり、主体的に活動に参加いただく市民を募るために実施。

《実施状況》 7月29日:6名 7月31日:8名 8月1日:2名 8月4日:4名

(8) ボランティア・市民活動の映像化と活用の場づくり

コロナ禍で活動の機会を失った特技ボランティアを映像化し、コロナ禍で外部ボランティアを受け入れられない福祉施設などへDVD化し、お渡しする。

《作成内容》 紙芝居2回 落語 マンドリン演奏 アコーディオン演奏

《配付・活用》①施設への配付17枚 ②鑑賞会2回

(9) ぼらかつショップの開設

コロナ禍で作品発表・販売の機会を失った手作り品を作成する市民団体・福祉施設を支援するため、センター内に販売コーナーを設置。併せて市民の方が寄付された寄付品を販売(6ページ参照)

《出展団体》 5団体

活動体験・相談会

(1) 子ども自然ボランティア体験会

子どもがボランティア活動に触れる機会がなくなる中、清瀬の自然に関心を持ちボランティア意識づくりにつながることを目指して実施。

《実施状況》 10月31日:12名 11月7日:13名

(2) ビデオ会議ツール（Zoom）お試し相談会

対面でのコミュニケーション機会が取りにくくなる中、ビデオ会議ツールを用いてコミュニケーションや地域活動の会議などで活かされるよう実施。

《実施状況》 6月4日 23回 41名

(3) ボランティア・市民活動相談会

ボランティア・市民活動に関心のある方や活動をしている方向けの個別相談会。2回予定していたが、1回はコロナ禍により中止。

《実施状況》 3月18日 参加1名

※コロナ禍による中止事業

- ①夏の体験ボランティア ②大学生と地域をつなぐ体験プログラム・相談会
③ボランティア・たすけあいサービス説明相談会

きよせ介護サポーター事業

(1)事業内容

高齢者の介護予防と社会参加を目的に、サポーター登録した65歳以上の市民が高齢者施設などで地域貢献活動をした時間に応じて介護サポーター事業交付金を交付。

(2)実績報告

①登録の状況

	男性	女性	計
新規	2	1	3
継続	31	176	207
退会	-1	-10	-11
計	32	167	199

②活動実績 実働23名 交付金86,500円

(昨年実働147名 交付金483,000円)

③サポーター受入施設・事業所数 36か所

(3)介護サポーターアンケート

災害ボランティアに関する取り組み

(1)災害ボランティア登録

《登録》101名(女性68名 男性33名) 前年度末96名

※コロナ禍による中止事業

- ①災害ボランティア養成講座 ②災害ボランティアセンター開設訓練

7. 共同募金

共同募金全般

(1)地域会議

共同募金の適正な推進のため地区協力会を実施し、併せて共同募金を財源とした助成事業の配分推せん委員会を実施。

会議	日程	内容
第1回地区協力会・配分推せん委員会	9月28日	令和元年度応援助成報告 地域配分審査 他
第2回地区協力会・配分推せん委員会(書面)	1月18日	地域活動助成審査 令和2年度配分計画変更他
第3回地区協力会・配分推せん委員会	3月8日	募金報告 令和3年度第1回助成審査他

(2)地域への協力依頼

- ①自治会、商店会、地区福祉員、老人クラブ、ボランティア団体、事業所の職員などに依頼
- ②公共施設、商店、事業所、福祉施設に募金箱の設置依頼
 - 赤い羽根共同募金 32件
 - 歳末たすけあい募金 33件

(3)東京都募金会連携調整

- ・東京都共同募金会事務説明会(書面) 6月
- ・東京都共同募金会理事・評議員会 ※中止
- ・歳末たすけあい運動事務説明会(オンライン) 9月3日

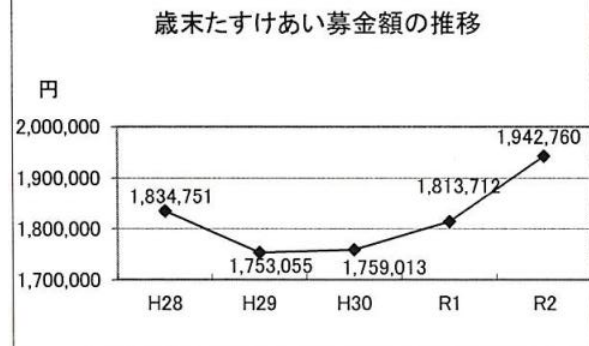
(4)広報

- ・社協だより・社協ホームページ・市報への掲載
- ・募金・配分団体の紹介展示

歳末たすけあい運動の実施

(1)事業内容

- ① 募金総額 1,942,760円
(前年度1,813,712円 前年比107.1%)
- ② 街頭募金 12月12日 募金額 48,527円
(前年度 128,093円 前年比37.9%)
清瀬駅北口・南口
※音声テープによる募金呼びかけ
- ③ その他の募金運動



- 旭が丘団地地区福祉員
12月19日(土) 旭が丘Eラウンジ集会所 募金額 307,853円 (前年度258,874円)

(2)歳末たすけあいイベント実施(歳末カレンダー市)

- ①目的
 - ・歳末たすけあい運動の意義と配分先の活動を広く市民に周知を図る
 - ・無理のない形で、多くの市民に歳末たすけあい運動への参加を得る
- ②内容

【実施日】12月19日(土)10時00分～15時 コミュニティプラザ会議室3 会議

12月22日～1月22日まできよせボランティア・市民活動センターで実施

12月22日～1月22日まで社協施設及び市内地市民センター窓口で実施

【内容】○企業等からカレンダー等の無償提供を受け、1点100円以上の募金を促す
○歳末たすけあい運動と助成団体の紹介コーナー

【募金額総額】 524,862円(前年度 379,555円 前年比138.2%)

(3)令和元年度募金に係る令和2年度配分

・地域福祉活動応援助成事業	159,260 円	
・福祉啓発、ボランティア育成事業	130,816 円	
・防災コーディネート・まちづくり	232,229 円	
・見守り、見舞金支給、困窮者支援	324,776 円	
・令和3年度事業への繰越	845,000 円	※新型コロナウイルス感染症の影響による特例対応
合 計	1,692,081 円	

赤い羽根共同募金への協力（地区協力会事務局）**(1)事業内容**

民間社会福祉推進のための募金運動

①【募金総額】594,839円

（前年度774,978円 前年比76.8%）

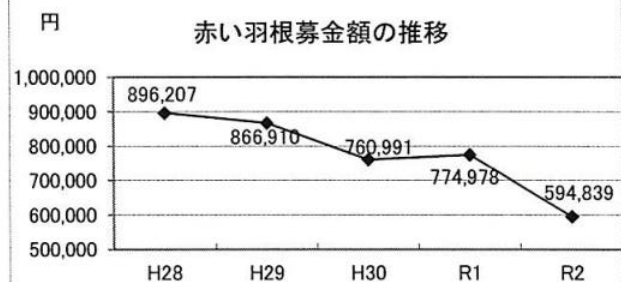
②募金運動

○街頭募金 28,532円

（前年度70,712円 前年比40.3%）

清瀬駅北口・南口

※音声テープによる募金呼びかけ

**義援金****(1)平成30年7月豪雨災害義援金** ※令和3年6月30日まで受付予定

○ 令和3年3月31日まで送金総合計 425,529円

(2)令和元年8月佐賀県豪雨災害義援金 ※令和2年8月31日で終了

○ 令和2年8月31日まで送金総合計 138,176円

(3)令和元年台風19号災害義援金 ※令和3年3月31日で終了

○ 令和3年3月31日まで送金総合計 68,787円

(4)令和2年7月豪雨災害義援金 ※中央共同募金会での受付は令和3年3月31日で終了

○ 令和3年3月31日まで送金総合計 11,256円

(5)令和3年2月福島災害義援金 ※令和3年5月31日まで受付予定

○ 令和3年3月31日まで送金総合計 0円

募金プロジェクト事業**(1)募金百貨店プロジェクト**

市内の商店や企業等と連携し、商品の売り上げの一部を共同募金に寄付する「寄付つき商品」を企画し、販売を通して無理なく募金運動に参加いただくプロジェクト。

①イーグルクリーニング清瀬スマイルプロジェクト

8. 地域包括支援センター事業

運営・管理

(1) 市内地域包括支援センターとの連絡会議

適切な事業運営、市内地域包括支援センターの連携と情報共有を図るために実施。

- 地域包括支援センター運営協議会(対面1回 紙面2回)
- 四包括センター長会議(12回)
- 四包括ネットワーク会議(3回)
- 包括職種別「主任ケアマネ、保健師・看護師、社会福祉士」会議の開催
- ほうかつだより編集委員会(4回)
- 自立支援型地域ケア会議(対面1回 紙面2回)
- 小地域ケア会議(1回)

(2) 地域連携

市内の関係者・機関と相互理解と支援を行うために参加。

- ケアマネジャー団体「けあまねっと」の会議・研修(9回)
- 認知症家族会「ゆりの会」(5回)
- ふれあい合同連絡会議
- 認知症初期集中支援チーム会議(5回)
- 個別地域ケア会議(4回)
- 第2層協議体いきいき会議(8回)
- 北多摩北部医療圏認知症疾患医療介護連携
- 第1層協議体会議(1回)
- 認知症初期集中支援チーム会議(5回)

(3) 研修会等への出席

専門職として必要な技量・知識習得のため研修会に参加。

- 高齢者権利擁護研修
- チームケアの理論と実践研修
- 精神保健研修
- 地域包括支援センター現任研修
- 地域ケア会議研修
- 権利擁護研修
- 複十字病院事例検討会

(4) ふれあいネットワーク事業

地域で声かけ見守り活動を行う「ふれあい協力員」「協力機関」とともに高齢者の安否確認とふれあい事業を行う。

- ふれあいネットワーク事業関係者連絡会
- ふれあい協力員 社協ブロック連絡会(コロナのため開催なし)
- ふれあいネットワーク事業合同連絡会および講演会
「高齢者を狙う悪質商法の手口と対処法」(11月5日 アミューホール)

8 (5)介護予防教室・講演会等の実施

地域包括支援センター事業

①認知症サポーター養成講座

*地域で認知症高齢者への声かけや見守り活動を行うサポーター養成講座を開催

	開催日	開催方式	参加者	開催会場・対象等
①	9月10日(木)	出張講座	12名	生涯学習センター(19時～)
②	12月2日(水)	出張講座	60名	第八小学校

②シニアしっとく講座

*介護者教室の一環として一般市民及び高齢者を対象に開催していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

(6)法テラスによる支援者相談

虐待対応などの対応困難ケースに適切な対応を行うために、法テラスの弁護士による清瀬市への出張相談を受け、利用者支援につなげていく。(コロナのため開催なし)

支援状況

(1)介護予防ケアマネジメント事業

介護認定で要支援1及び2に該当した方の及び総合事業対象者のケアプラン作成等

①介護予防サービス計画作成者数

	R元年度	R2年度	前年比
直営	547	602	110%
委託	1,022	940	92%
計	1,569	1,542	98%

②介護予防ケアマネジメント作成者数

	R元年度	R2年度	前年比
直営	503	564	112%
委託	1,022	383	37%
計	1,525	947	62%

(2)総合相談支援等

*介護をはじめ保健福祉等の総合相談支援事業。

①相談者

	R元年度	R2年度	前年比
本人	890	688	77%
家族等	541	551	102%
福祉関係者	372	370	99%
医療関係者	218	196	90%
包括	58	56	97%
行政	135	126	93%
地域近隣	70	60	86%
その他	16	23	144%
合計	2,300	2,070	90%

②受付方法

		R元年度		R2年度	
		件数	計	件数	計
電話	継続	306	1,426	215	1,431
	新規	1,120		1,216	
来所	継続	57	174	44	128
	新規	117		84	
訪問	継続	74	605	63	450
	新規	531		387	
&その他 ルメ 他	継続	8	95	2	61
	新規	87		59	
計	継続	445	2,300	324	2,070
	新規	1,855		1,746	

③相談内容

	R元年度	R2年度	前年比
介護	1,910	1,903	100%
保健福祉	632	689	109%
認知症	274	147	54%
権利擁護	131	68	52%
医療	314	296	94%
クレーム	50	27	54%
経済・住まい	108	126	117%
その他	47	80	170%
合計	3,466	3,336	96%

④対応内容

	R元年度	R2年度	前年比
傾聴・情報提供	1,098	1,693	154%
連絡調整・情報収集	2,754	2,117	77%
ケース対応	60	50	83%
申請代行	57	10	18%
その他	2	4	200%
合計	3,971	3,874	98%

第2層生活支援コーディネーター

(1)社協エリア第2層協議体(いきいき会議in元町・上清戸・中清戸・下清戸)

《内容》

意見交換…感染症拡大状況下での地域課題、おひとりぐらしシニア男性の社会参加に関する課題

情報共有…地域情報、団体活動状況等の共有

プロジェクト…「高齢者のお出かけ支援マップ」完成、配布。

「ケアメンの集い」有志で検討。

(2)住民主体の活動の立ち上げ・運営支援

①きよせ10の筋トレ

《内容》

グリーントウン清戸にて新規グループ立ち上げ。既存の団体の運営支援(感染症対策等について助言)

②宮の台集会所を活用した活動について

《内容》

3月開始に向け地域住民と検討・企画(健康麻雀・10の筋トレ・お茶会等)

(3)会議体への参加

①円卓会議・地域づくりの会 リーダー会

②地域ケア会議(自立支援型地域ケア会議、小地域ケア会議)

③第一層協議体

④ふれあい協力員合同連絡会

(4)その他地域との関わり

①あったかマスク☆プロジェクトの実施

②講座「知ってみよう!『もしも』のときの安心ノート」3回実施。

③介護予防10ミッション大作戦 シーズン1・2を実施

④感染症拡大状況下での困り事等を、COの繋がりより電話等で聞き取り

⑤再開後の地域活動への訪問 (サロン、シニアクラブ、運動自主グループ)

(5)研修への参加

①生活支援コーディネーター研究協議会

②未来の豊かなつながりアクション

③「モデル事業、先駆的取組から改めて学ぶ、『地域ケア会議』」

④社協 ファシリテーション講座

9. 権利擁護センター事業

運営全般		9 権利擁護センター事業
(1) 運営委員会		
事業の適正な運営を図るために、学識者(弁護士)をはじめ精神科医師・司法書士・社会福祉士等の専門職や関係機関・団体の代表者、行政職員で構成する運営委員会を開催した。		
日程	内 容	
6月16日	①令和元年度事業報告 ②令和2年度事業計画 ③権利擁護事業の動向 ※ 新型コロナウイルス感染防止の観点から書面にて開催	
3月5日	①新規事業/法人後見支援事業(モデル事業)の概要及び今後の方向性について ②市民成年後見人の受任要件緩和について ※ 新型コロナウイルス感染防止の観点から書面にて開催	
(2) 広域連携		
関係機関との情報交換や懇談会に参加し、事業の推進、課題整理、先進地域の取り組みについての情報収集等に努めた。		
○東社協地域福祉権利擁護事業業務連絡会 10月22日/2月5日		
○東社協地域福祉権利擁護事業 センター長会議 6月24日		
○利用者支援区市町村連絡会・後見人等候補者養成事業運営担当者連絡会 2月25日		
○成年後見地域連携ネットワーク会議及び成年後見制度推進機関連絡会 11月26日		
○北多摩北部ブロック権利擁護業務連絡会 11月30日		
(3) 地域連携		
関係機関の連絡会等に参加し、情報共有・事業周知等を行い連携強化を図る。		
○清瀬市地域包括支援センター運営協議会 10月20日/2月16日		
○清瀬市成年後見制度等利用促進のための体制整備検討会 3月22日		
○清瀬市情報公開・個人情報保護審査会 8月27日/3月1日		
(4) 研修参加		
専門的な知識や技術を確保するため、内部研修の実施と外部研修へ参加した。		
○成年後見制度推進機関・テーマ別研究会議 7月22日		
○成年後見制度推進機関職員フォローアップ研修 8月19日/11月25日/12月15日		
○東社協 地域福祉権利擁護事業専門員研修 2月4日/9日/24日/6日		
○成年後見制度利用促進体制整備研修(基礎・応用) 10月9日/19日/20日/26日		
○成年後見制度利用促進体制整備研修(応用) 12月1日/16日/17日/18日		
○ひきこもり支援に関する関係機関向け専門研修 11月2日		
○地域福祉権利擁護事業 新任生活支援員研修 11月18日		
○地域福祉権利擁護事業 現任生活支援員研修 2月24日～3月31日		

(1) 法人後見監督の実施

市民後見人として成年後見人等を受任する場合において、その活動をサポートするために社協が法人として後見監督を行った。（同行訪問、業務報告の点検、事例検討会への報告等）

○受任件数 2件

- ①後見類型・高齢者・施設入所中 平成27年7月15日 後見開始審判
- ②後見類型・高齢者・施設入所中 平成31年1月8日 後見開始審判

(2) 成年後見人サポート

専門職後見人と、事例を基に支援の方向性の検討や連携の方法などを学ぶために勉強会を開催した。申立支援や後見人サポートの一環として、家裁への同行、受理面接立会、財産引継の立会、同行訪問等を実施した。また個別の事案について、後見人等からの要請により都度必要な支援（後見人等支援）を実施した。

(3) 成年後見利用支援

成年後見制度の利用支援の一環として、相談支援、成年後見申立書類作成相談、家裁への同行、家裁の調査官による現地調査立会いなどを行った。

種別	30年度	R1年度	R2年度
相談支援(連絡調整・本人等訪問)	2,919	2,561	3,081
家裁への申立同行	11	5	19
家裁調査官の現地調査立会い等	8	5	7

(4) 事例検討会の設置

権利擁護センターが関わる事例について、支援の専門性及び客観性を確保するため、専門職からなる事例検討会を開催し、事例検討を行った。

7月16日	①継続事例報告 ②新規事例:市長申立の適否3件 ③社会貢献型後見人の活動報告及び後見監督について報告
10月1日	①継続事例報告 ②新規事例:市長申立の適否3件/困難事例1件③社会貢献型後見人の活動報告及び後見監督業務について
12月3日	①継続事例報告 ②新規事例:市長申立の適否2件 ③社会貢献型後見人の活動報告及び後見監督業務について
3月4日	①継続事例報告 ②新規事例:市長申立の適否3件 ③社会貢献型後見人の活動報告及び後見監督業務について

(5) 市民後見人活用の検討

活用についての考え方（受任要件の緩和、法人後見支援事業における後見支援員としての活動等）を法人後見支援事業検討会で検討した。

11月13日	法人後見支援事業検討会（委員：弁護士、司法書士、社会福祉士）
--------	--------------------------------

一般相談

9

権利擁護センター事業

(1)一般相談の動向 *職員(社会福祉士等)による相談

対象区分	高齢者等		知的障害者等		精神障害者等		身体障害者等		不明・その他		合計		前年比
	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	
成年後見制度	38	38	2	3	2	2	0	0	1	1	43	44	102%
地域福祉権利擁護事業	39	28	1	0	6	5	0	0	2	1	48	34	71%
権利擁護全般	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	—
相続・遺言	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	150%
福祉サービス苦情	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	4	—
福祉サービス全般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0%
その他	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	—
合計	79	72	3	3	8	7	0	2	3	5	93	89	96%

(2)職員による苦情対応

No.	申立者	苦情内容等	対応内容
1		市内の障害者入所施設の職員から匿名の投書。利用者が他の利用者に対して恐喝行為を行っている。防犯カメラの静止画像の写し(当該行為に及んでいる利用者が他の利用者を脅迫し財布を奪い取っているように見える。=恐喝)が添付されている。当該行為に及んでいる利用者の恐喝行為を管理課長に報告したが、施設長及び副施設長、管理課長はこの事実を組織ぐるみで隠蔽しようとしているとの訴え。	顧問弁護士に助言を仰ぎながら、障害者入所施設の施設長、副施設長及び管理課長に対し、書面及び面接による聴き取りを実施した。聴取によれば、当該行為に及んでいる利用者の動作は、防犯カメラの静止画像からすると恐喝しているかのように見えるが、当事者双方からの聴き取りの結果、恐喝をしている意識及び恐喝を受けている意識ともないとの返答があったとのことで、本行為が恐喝であった事実は確認できなかったとのこと。施設は本書の発信者を既に特定しているとのこと。また当センターあてに送付された投書については、東京都及び清瀬市の所管部署にも同様の書面が郵送されており、既に両機関より聴取を受け当センターに回答した同様の内容で報告した模様。なお、同書は同施設利用者宅にも郵送され、同様の内容に加え、「この施設は問題がある。」「近いうち潰れる。」「早く他の施設を利用することをお勧めする。」等の施設を中傷するような内容が付け加えられた文書になっており、案じた利用者親族から施設に問い合わせが殺到したとのこと。同施設は、来年度より運営母体が他の法人に移行する予定になっており、現在労使での話し合いの只中とのこと。職員は今後、自分がどのような形で雇用されるのか、若しくはされないのか不安を感じ、ナーバスになる時期でもある。このような状況から労働者の一部が法人に対して悪感情を抱き、敵対的行動に出るようなことはよくあることで、本件もその類のものと同推測される。当事者双方からの聴取も行い、東京都及び清瀬市の所管課にも事実を報告していることから、当センターとしては少なくとも投書の内容にあるような組織ぐるみで隠蔽工作を行った事実はなく、発信者の一方的な訴えであるものと判断した。今後については丁寧な労使の話し合いにより、法人に対する不信感や職員の不安感を払拭すること及び、事件の事実を可能な限り究明することをお願いし本件を終結することとした。

専門相談

(1) 弁護士の福祉法律専門相談の動向

弁護士が対応する高齢者・障害者向けの無料法律相談を毎月第4水曜日の10時～正午に実施。

対象区分	高齢者等		知的障害者等		精神障害者等		身体障害者等		不明・その他		合計		前年比
	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	
成年後見制度	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0%
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0%
相続・遺言等	3	8	0	0	1	0	0	0	8	3	12	11	92%
契約・財産問題	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	100%
金銭・借金	1	2	0	0	0	1	0	0	2	0	3	3	100%
訴訟・犯罪	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0%
離婚	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0%
経済(生計)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0%
近隣・住まい	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	4	0	0%
示談・慰謝料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	-
介護	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	100%
養子縁組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
人権	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	-
合計	7	11	0	0	1	1	2	0	17	9	27	21	78%

成年後見専門相談

(1) 成年後見専門相談の動向

制度利用を考えている方や後見人になった後の相談などに、弁護士、司法書士、社会福祉士が相談対応。年12回実施(1回の相談で2人受付。お一人1時間程度)

対象区分	高齢者等		知的障害者等		精神障害者等		身体障害者等		不明・その他		合計		前年比
	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	
申立前(親族)	13	8	0	0	0	1	0	0	1	0	14	9	64%
(本人)	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	300%
(その他)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0%
申立後(親族)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
(その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
合計	16	11	0	0	0	1	0	0	1	0	17	12	71%

地域福祉権利擁護事業

(1)事業動向

判断能力が十分でない高齢者、知的障害者、精神障害者に対する福祉サービス利用援助や金銭管理等の事業を東京都社会福祉協議会から受託。

① 相談経路

対象区分	高齢者等		知的障害		精神障害者等		その他		合計		前年比
	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	
ケアマネ	19	15	0	0	1	3	1	0	19	18	95%
生保W	5	3	0	0	0	0	0	0	6	3	50%
市	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	-
病院相談員	1	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0%
福祉施設	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	-
包括支援センター	11	8	0	0	0	0	0	0	10	8	80%
本人	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0%
親族	1	3	0	0	0	0	0	0	3	3	100%
民生委員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
社協内	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0%
保健所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
ヘルパー事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
障害者相談支援事業所	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0%
生活相談支援センター	2	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
合計	40	29	1	0	6	5	1	1	48	35	73%

② 契約状況 令和2年4月から令和3年3月まで

対象区分	高齢者等		知的障害者等		精神障害者等		不明・その他		身体障害者等 (対象拡大)		合計		前年度末	
	計	うち生保	計	うち生保	計	うち生保	計	うち生保	計	うち生保	計	うち生保	計	うち生保
新規契約	11	1	0	0	2	0	1	0	0	0	14	1	15	3
契約終了	8	4	0	0	4	2	0	0	0	0	12	6	14	7
契約者合計	30	11	1	1	6	3	3	0	0	0	40	15	38	21
割合	75%	37%	3%	100%	15%	50%	7%	0%	0%	0%	100%	37%	100%	62%
契約準備件数	4		0		0		0		0		4		3	

※解約事由(死亡7 施設入所・長期入院0 後見移行2 転居0 その他3 計12)

※割合中「計」欄は全体に対する割合、「うち生保」欄は区分別の生保割合を示す

※平成17年12月から令和3年3月現在までの契約者 延べ192名

③ 専門員連絡調整回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30年	224	199	228	216	266	201	286	254	170	180	193	231	延 2,648 回
R01年	198	198	253	319	284	256	298	254	332	348	329	356	延 3,425 回
R02年	392	203	504	472	457	348	403	389	401	391	347	488	延 4,795 回

(2)生活支援員連絡会

専門員と生活支援員の連携を促進する場として、定例の連絡会を開催した。

開催日等		出席者数	開催内容
1回	12月4日	14名	新任生活支援員の紹介、生活支援員活動について 事故報告について

市民啓発事業

(1)権利擁護セミナー

地域の方が、成年後見制度や福祉サービス利用に関する権利擁護ニーズなどの理解を深められるようセミナーを実施

開催日	テーマ	講師	参加者	場所
10月16日 10月21日 10月23日	地域包括支援センター職員のための権利擁護セミナー	権利擁護センター職員	23名	コミュニティプラザ 会議室

(2)出前説明会

- ①9月30日 地域福祉権利擁護事業登録型生活支援員説明会
- ②12月10日/3月23日/3月24日 民生・児童委員向け「地域福祉権利擁護事業について」

(3)その他広報

- ①きよせ権利擁護センターパンフレットの作成配布
- ②専門相談・成年後見専門相談・出前講座のチラシ作成配布
- ③法律相談の市報掲載
- ④社協だよりや社協のホームページに権利擁護センター事業案内掲載

10. 障害者福祉センター事業

センター全体の取り組み

10 障害者福祉センター事業

(1) 組織・動向

日程	内容
4/1(水)	組織改編(4係体制)
4/8(水)	緊急事態宣言発出:利用者への利用自粛要請(4/8~)。職員交代制勤務(4/15~)
4/27(月)	感染拡大防止のため、全館臨時休館(翌28日より通常営業)
5/18(月)~19(火)	感染拡大防止のため、臨時休館(5/20(水)より再開)
5/25(月)	東京都の緊急事態宣言解除・センター事業の分散利用開始
6/24(水)	分散利用終了。職員交代制勤務終了
7/1(水)	令和2年度ふくしセンターまつり 中止決定(周知開始)
8/28(金)	『感染防止徹底宣言ステッカー』掲示開始
9/1(火),7(月)	厚労省及び東京都から配られたマスクを、利用者・職員に配布
11/2(月),24(火)	ヤギによる除草ボランティア(清瀬第3小PTA会長はじめ地域のみなさま)
11/16(月)	令和元年度 ふくしセンター事業に関するアンケート 集計結果公表
12/1(火)~9(水)	市の障害者週間展示に参加
1/8(金)	緊急事態宣言発令(首都圏1都3県に対して)
2/2(火)	緊急事態宣言の延長決定(~3/7)
3/5(金)	緊急事態宣言 再延長(~3/21)
3/12(金)	サービス利用にかかる申し入れ書を市に提出(市内地域包括支援センター等5事業所連名)

(2) 会議等の開催

センター運営委員会	2 件
職員全体会	2 件
ワーキング・委員会	12 件
その他	6 件

(3) 職員研修状況

研修等への出席※	12 件
内部研修の実施	3 件

※研修等への出席のうち、オンライン研修 8件

(4) 地域連携

会議・イベントの開催	0 件
連絡会等への出席※	34 件
イベント等への参加	0 件

※「連絡会等への出席」の内訳

参集しての開催	17 件
メール・書面	14 件
オンライン	3 件

(5) 実習・研修等の受け入れ

	件数	のべ人数
社会福祉士	7 件	27 人
介護等体験	7 件	35 人
ボランティア体験	0 件	0 人
公務員研修	0 件	0 人
職場体験(中学生)	0 件	0 人
職員交換研修	0 件	0 人
その他	0 件	0 人

	件数	のべ人数
見学	21 件	29 人
施設利用実習・体験利用	7 件	8 人

(6) 災害対策関連

① 自衛消防訓練の実施

日程	内容
3/25(木)	学童クラブのびのび対象
3/26(金)	全館対象

管理係

(1) 施設管理

○ 会計管理

- ・適正な予算施行、会計管理を目指し、随時処理手順の見直しを実施。
- ・経費削減に関する情報を収集。
- ・財務会計システムの更新に対応。

○ 施設設備・備品管理

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
修理等実績	5	5	6	4	8	8	4	9	9	6	4	7	75

○ 支援システム運用

- ・システムリプレイス後の円滑な運用に取り組んだ。

○ 業務の標準化

- ・各種業務マニュアルの見直しを随時行った。

(2) 給食サービス

○ 食材や調理を工夫し、安全に食べられる給食を提供した。

○ 材料費の値上がりによって、使用できる食材や献立に制約がある中で、利用者からのリクエストに、可能な範囲で応えた。

○ 肥満度等に合わせた食事について書面で提案した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
提供食数	339	138	325	509	437	502	556	481	497	480	447	619	5,330

(3) 送迎サービス

○ 乗務員と連携をとりながら、安全で安心して利用できる送迎サービスの提供に努めた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
のべ利用者数	636	325	734	1,087	862	1,047	1,150	988	1,024	982	905	1,182	10,922

(3) 保健・衛生管理

○ 医療的ケアが必要な利用者の支援や嘱託医など関連機関と連携し、保健衛生の面から利用者を支援すると共に、情報を整理して利用者や家族などに提供した。

○ センターの状況にあった感染症対策に取り組んだ。

	ひまわり	のびのび	のぞみ	機能訓練	入浴サービス	その他
看護師対応件数	744 件	150 件	872 件	184 件	63 件	3 件

第1係

(1) 清瀬ひまわり園（生活介護事業）

○新型コロナウイルス感染症の影響により、特に上半期の利用者数は大幅に減少した。年度後半からは、感染予防に配慮しながら、活動内容や支援の方法を見直し、現状に適した形でのサービス提供に努めた。

○個人面談が中止となり、ご家族等と対面でお話をする機会を持てなかった（電話、メールなどを例年以上に活用した）。

○東京都市心身障害者施設協議会の職員交換研修は中止となったが、メール等で情報交換・情報共有に努めた。（第3係のぞみ生活介護事業所も同様）

○利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	25	21	26	26	25	25	25	25	24	25	24	25	296
のべ利用者数	261	122	296	448	329	433	482	415	422	406	377	497	4,488

一人あたり平均利用日数(月)	平均利用者数(日)	(令和3年3月末現在)					
		区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
15.2 日	24.7 人	0	3	8	13	3	27

第2係

(1) 相談支援事業所（相談支援事業）

○利用者本人の意思を尊重し、利用者自身が行えることはご自分で取り組んでいたいたり、支援関係者と役割分担をしながら、利用者本人が持っている「強み」を活かした問題解決に取り組んだ。

○関連する行政機関や病院、地域包括支援センター、権利擁護センター、ボランティア・市民活動センターなどと連携しながらケースに対応した。

○資源開拓については、感染防止のための自粛などの影響で、十分な情報収集が行えなかった。

○年間実利用者数

身体障害	22 人	発達障害	17 人
重症心身障害	5 人	高次脳機能障害	6 人
知的障害	67 人	その他	4 人
精神障害	24 人	合計	145 人

○支援方法別 年間相談件数 (件)

	訪問	来所	同行	電話	メール	支援会議	関係機関	その他	合計
身体障害	22	8	2	69	0	3	116	0	220
重症心身障害	1	6	0	15	0	0	15	0	37
知的障害	160	56	75	435	3	15	432	3	1,179
精神障害	23	13	2	178	0	7	92	0	315
発達障害	27	13	4	169	1	7	141	0	362
高次脳機能障害	3	5	2	18	0	1	25	0	54
その他	1	1	1	5	0	0	1	0	9
合計	237	102	86	889	4	33	822	3	2,176

○相談内容別 年間支援回数

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	合計
福祉サービス利用	142	36	554	105	153	32	0	1,022
障害や病状理解	13	1	37	24	16	10	0	101
健康・医療	63	5	143	91	85	13	2	402
不安・情緒不安定	18	5	234	156	168	15	2	598
保育・教育	5	0	13	10	10	0	0	38
家族・人間関係	15	1	125	36	22	5	0	204
家計・経済	2	0	206	73	51	0	2	334
生活技術	20	1	339	50	39	4	6	459
就労	3	0	32	36	76	7	0	154
社会参加・余暇活動	2	0	17	6	3	1	0	29
権利擁護	12	0	40	1	0	3	0	56
その他	9	1	7	0	2	0	1	20
合計	304	50	1,747	588	625	90	13	3,417

○計画相談 利用者数(令和3年3月末現在)

障害者	障害児	合計
89 人	15 人	104 人

(2)学童クラブのびのび

○全国一斉休校など感染防止対策の影響で、通常とは異なるサービス提供が続いたが、状況に合わせて利用者が楽しめる活動提供に努めた。

○手洗いなど感染予防のための指導に重点を置いた。

○市内の就学前支援施設との連携が定着した。

○利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	20	15	19	19	20	18	18	18	18	18	18	19	220
のべ利用者数	84	68	144	161	156	157	164	150	162	158	149	184	1,737

一人あたり平均利用日数(月)	平均利用者数(日)
7.9 日	7.2 人

(3)同行援護事業

○利用者の外出自粛の影響により、利用件数は減少したが、感染防止に留意しながらサービス提供を行った。

○参集しての従業者研修が行えなかったため、個別に感染症対策の研修を行った。

○サービス提供責任者が視覚障害者のサークルに参加し、事業の普及啓発に取り組んだ。

○利用状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	7	7	11	8	6	6	9	8	7	6	7	6	88
のべ利用者数	27	25	37	32	23	25	33	28	26	19	24	19	318

(4) 移動支援事業・生活サポート事業

- 移動支援事業の利用件数は、『不要不急の外出自粛』の影響で大幅に減少した。
- 生活サポート事業については、問い合わせがあった際に事業概要をご説明しているが、利用には結びつかなかった。
- 移動支援事業利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	0	0	3	0	0	0	2	3	2	1	0	1	12
のべ利用者数	0	0	3	0	0	0	6	17	20	6	0	1	53

- 生活サポート事業利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
のべ利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第3係

(1) 機能訓練事業所

- 市内の相談支援事業所や近隣市の障害福祉課むけに、事業の周知を行った。
- 生活介護事業(ひまわり園)の利用者からのリハビリ相談に対応した。
- 分野を超えた連携として、きよせ社協地域包括支援センターと連携し、『介護予防10の筋トレ』に理学療法士を派遣した。
- 制度の狭間にある、若年の介護保険対象者(第2号被保険者)への支援を充実させるため、市内の地域包括支援センターと連名で市に要望書を提出した。
- 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	0	0	1	2	2	1	1	1	2	1	1	1	13
のべ利用者数	0	0	14	26	18	17	19	17	19	6	11	17	164

一人あたり平均利用日数(月)	平均利用者数(日)
12.6 日	0.8 人

(2) 生活介護事業所のぞみ

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、特に上半期の利用者数は大幅に減少した。年度後半からは、感染予防に配慮しながら、活動内容や支援の方法を見直し、現状に適した形でのサービス提供に努めた。(新規利用受入れ2名、利用終了2名)
- 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	7	4	7	7	8	7	7	7	7	7	7	7	82
のべ利用者数	56	19	38	69	61	74	80	73	71	68	70	88	767

一人あたり平均利用日数(月)	平均利用者数(日)	(令和3年3月末現在)	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
9.5 日	3.3 人	障害程度区分(人)	0	2	1	1	3	7

(3) 入浴サービス事業

- 同性介助に取り組み、支援の質の向上及び安定化に取り組んだ。
- 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	7	5	6	7	7	6	6	6	6	6	6	6	74
のべ利用者数	41	15	32	39	22	26	32	31	28	28	21	30	345

利用者の動向

(1) 障害種別ごとの登録者数（令和3年3月末現在） (人)

		第1係		第2係		第3係			合計
		ひまわり園	学童クラブのびのび	同行援護	移動支援生活サポート	機能訓練事業所	生活介護のぞみ	入浴サービス	
身体障害者手帳	1級	3	0	7	4	0	4	4	22
	2級	4	1	4	3	0	3	1	16
	3級	1	1	2	1	0	0	0	5
	4級	1	0	0	0	0	0	0	1
	5級	0	0	1	0	0	0	0	1
	6級	0	0	0	0	0	0	0	0
愛の手帳	1度	1	0	0	0	0	2	2	5
	2度	20	5	0	9	0	1	0	35
	3度	6	9	0	7	0	0	1	23
	4度	0	3	0	4	0	0	1	8
精神障害者手帳	0	1	0	0	1	1	1	4	
手帳無し	0	2	0	0	0	0	0	2	
重複	9	2	0	8	0	4	4	27	
合計	27	20	14	20	1	7	6	95	
前年合計	27	21	16	18	0	7	9	98	

(2) 年齢別登録者数（令和3年3月末現在） (人)

	第1係		第2係		第3係			合計
	ひまわり園	学童クラブのびのび	同行援護	移動支援生活サポート	機能訓練事業所	生活介護のぞみ	入浴サービス	
～19才	0	20	0	5	0	0	0	25
20才～29才	8	0	0	1	0	2	0	11
30才～39才	5	0	0	6	0	2	3	16
40才～49才	8	0	2	5	1	1	2	19
50才～59才	4	0	1	1	0	1	0	7
60才～	2	0	11	2	0	1	1	17
合計	27	20	14	20	1	7	6	95
前年合計	27	21	16	18	0	7	9	98

(3) 利用状況総括表(のべ利用者数) (人)

	第1係		第2係			第3係			給食サービス	送迎サービス	合計
	ひまわり園	相談支援事業	学童クラブのびのび	同行援護	移動支援生活サポート	機能訓練事業所	生活介護のぞみ	入浴サービス			
4月	261	162	84	27	0	0	56	41	339	636	1,606
5月	122	143	68	25	0	0	19	15	138	325	855
6月	296	174	144	37	3	14	38	32	325	734	1,797
7月	448	178	161	32	0	26	69	39	509	1,087	2,549
8月	329	160	156	23	0	18	61	22	437	862	2,068
9月	433	231	157	25	0	17	74	26	502	1,047	2,512
10月	482	214	164	33	6	19	80	32	556	1,150	2,736
11月	415	158	150	28	17	17	73	31	481	988	2,358
12月	422	182	162	26	20	18	71	28	497	1,024	2,450
1月	406	209	158	19	6	6	68	28	480	982	2,362
2月	377	183	149	24	0	11	70	21	447	905	2,187
3月	497	182	184	19	1	17	88	30	619	1,182	2,819
合計	4,488	2,176	1,737	318	53	163	767	345	5,330	10,922	26,299
前年合計	5,365	1,831	1,850	539	56	37	920	560	6,261	12,040	29,459

※相談支援事業所ののべ利用者数は、計画相談以外の人数を計上